

2015年4月12日(日)

青木 靖

「ソロモン流」の生き方

伝道者の書

1. 3つのセカイのその中で……

①「日の下」というセカイ 2:17 「日の下」で行われるわざは、私にとってはわざわいだ。すべてはむなしく、風を追うようなものだから。

②「天の下」というセカイ 3:1 「天の下」では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。

③「永遠」というセカイ 3:11 神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に「永遠」を与えられた。

2. 3つの死のその前に……

①「情熱」の死 12:1 あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。

②「肉体」の死 12:2 太陽と光、月と星が暗くなり、……
12:5……だが、人は永遠の家へと歩いて行き、嘆く者たちが通りを歩き回る。

③「時間」の死 12:6 こうしてついに、銀のひもは切れ、金の器は打ち砕かれ……
12:7 ちりはもとあった地に帰り、霊はこれを下さった神に帰る。

12:8 空の空。伝道者は言う。すべては空。

だからこそ……

12:13 神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。

イザヤ 40:30 若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。

40:31 しかし、【主】を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。

グループディスカッション

1. この世が空しいとされる理由は何ですか？あなたはどう思いますか？
2. あなたの創造者を覚える（ザーカル）生き方にはどんな力がありますか。
3. あなたに与えられた情熱・体・時間をどのように使いますか。